

京都暁星高等学校ウォーカソン 2022

スポンサーのお願い

京都暁星高等学校ではウォーカソンをこれまで 19 回実施してきました。これまでにご協力頂いた多くの皆様に改めて感謝申し上げます。今年も新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じて、11月23日に例年のように加悦から学校までの26kmを歩くことにしました。

暁星ウォーカソンは、自分たちが歩くことに対してスポンサーになってくださる方をお願いして様々な活動の支援に使うもので、これまでに海外ではJAFSやMCLを通してのフィリピンやネパールの支援や、カンボジアで活動するJLMMの支援、国内では復興の遅れている福島のカリタス南相馬の活動支援を行うことができました。今年も下記のような支援を行っていきたいと思いますので、一人でも多くの方にスポンサーになっていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

昨年のウォーカソンの募金は、次のように寄付させていただきました

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 水道パイプラインの設置 | (ネパール・インドラワティ村) |
| 2 井戸の建設 (2基) | (フィリピン・ソルソゴン州) |
| 3 カンボジアでの活動の支援 | (カンボジア・JLMMの活動) |
| 4 スカラーシップ支援 (2名) | (フィリピン・MCLの学生支援) |
| 5 東日本震災復興支援 | (福島県・カリタス南相馬の活動) |

今年のウォーカソンでも昨年と同様の支援を予定しています。

※ 支援先団体 JAFS : (公) アジア協会アジア友の会 (一社) JLMM
MCL : (NGO) ミンダナオ子ども図書館 (一社) カリタス南相馬

ウォーカソン実施日 11月23日(水)

カトリック加悦教会堂→岩滝礼拝堂→天橋立松並木→宮津教会堂→京都暁星高等学校
9:00 スタート 16:00 頃到着予定

ウォーカーソンでの支援の紹介

ネパール 水道パイプラインの設置

インドラワティ村は、首都カトマンズの東、峠道を車で 6 時間の場所にある村です。2015 年のネパール地震で村の水源が枯渇しました。(公)JAFS では集落から 800m 下の谷川からくみ上げた水を共同水場まで配るパイプラインの設置を進めてきました。暁星高校では 2017～19 年にワークキャンプに生徒と先生が参加し住民の方と一緒に作業しましたが、20 年からはコロナの影響でワークキャンプは実施できませんでした。しかし支援したお金で現地の人の手で事業が進められています。今年もこの事業を支援します。



ネパール
暁星の支援で出来た水場



フィリピン
支援で出来た井戸

フィリピン 井戸の建設

フィリピンには都市部以外では水道が整備されていない地域があり、井戸が住民にとっての命綱になっています。以前ワークキャンプで訪れたルソン島南東部のマトノック町にも昨年の支援で井戸を設置することができました。今年も井戸を増やしたいと思います。

JLMM カンボジアでの活動支援

カトリック国際ボランティア団体である JLMM はアジア諸国で子供たちの生活支援・自立支援の活動をされています。カンボジアの活動拠点の「子どもの家」では、経済的に困窮し学校に通えない子供のための識字教室や食事の支援などを続けています。昨年に引き続き JLMM の活動支援をしていきます。



識字教室

カリタス南相馬の活動支援

東日本大震災から 11 年経ち、青森・岩手・宮城の東北各県では復興が進んでいますが、原発事故の被害が重なった福島県には今も帰宅困難地域が残っており最も復興が進んでいない地域となっています。今年 8 月と 9 月には 3 年ぶりに計 10 名の生徒がカリタス南相馬でのボランティアに参加し、津波の被害の大きさや、原発事故によって復興が進まない現実を直接学び、そうした中でも希望を持って活動しておられるスタッフの方から「共に生きる」ことを学びました。福島で頑張っておられるカリタス南相馬の応援を続けていきます。



夏の東北ボランティア

フィリピンの学生の奨学金

ミンダナオ子ども図書館では家庭的に恵まれない子供たちが集団生活をしながら学校に通っています。京都暁星高校ではウォーカーソンの募金で奨学金の支援を 15 年以上続けました。今年も 2 人分の奨学金の支援をします。

